

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210562020050	科目番号 / Course code	05620200
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16071_024		
授業科目名 / Course title	健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyuhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyuhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 木下 裕久 / Kinoshita Hirohisa, 小川 さやか, 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 夏田 昌子, 尾崎 幸生 / Ozaki Yukio		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 選択科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	峰松和夫: minematsu nagasaki-u.ac.jp 古林正和: masakazu-f328 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	峰松和夫: 教育学部本館111室 古林正和: 保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	峰松和夫: 095-819-2359 古林正和: 095-819-2213		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16時~17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。生涯に亘る健康の維持・増進のために、個々の生活習慣を振り返り、適切な生活習慣を確立することができるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の授業ごとのテーマに関するレポートまたは小テストを総合して評価する。毎週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価する。15回の合計150点のうち90点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で取り扱うテーマについて、中学校で学習したレベルでよいので、自身の興味ある範囲で予備知識を整理しておく。毎回授業後に提出するレポートを作成することが復習となる。(4h)		
キーワード/Keywords	健康、生涯スポーツ、身体運動、生活習慣病、禁煙、心の健康、青年期の性、歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書: 学生と健康, (編) 国立大学等保健管理施設協議会, 南江堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	レポート（小テスト）提出がなければ出席したと見なされないので、出席したら必ずレポート（小テスト）を提出してください。15回中6回以上の未提出があると「失格」となってしまいます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	飛奈 美耶子/保健体育科教員/ 地域総合型スポーツクラブでの指導/ 渡邊 勝平/長崎市障害福祉センター『スポーツ・レクリエーション講座』 利用者を対象として、15回にわたってスポーツやレクリエーションを指導した。/ 古林 正和/長崎大学病院内科での勤務経験、糖尿病診療/糖尿病診療での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能について概説する。/ 木下 裕久/長崎大学病院精神科での勤務経験/保健医療専門職として、対象地域および集団の特性を把握し、実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 小川 さやか/長崎大学保健・医療推進センターでの勤務経験/公認心理師として実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的な考え方や態度、実践的手法を養う。/ 夏田 昌子/長崎大学病院内科での勤務経験/生活習慣病（メタボリックシンドローム）の診断・病態・合併症について実践的な内容/ 尾崎 幸生/長崎大学病院歯科保存治療室での勤務経験/抜髄や感染根管治療に必要な基本知識及び術式の修得のため抜去歯や歯牙模型を用いて行う模型実習の指導を行う。/ 森藤香奈子/助産師/産褥期・新生児期における母体と新生児への看護に必要な看護技術演習/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（9月30日）	峰松和夫、飛奈美耶子：オリエンテーション、運動と健康
第2回（10月7日）	飛奈美耶子：運動とエネルギー
第3回（10月14日）	飛奈美耶子：体力トレーニング法
第4回（10月21日）	飛奈美耶子：スポーツ障害及び救急処置法
第5回（10月28日）	渡邊勝平：障がい者スポーツ 1
第6回（11月4日）	渡邊勝平：障がい者スポーツ 2
第7回（11月11日）	渡邊勝平：障がい者スポーツ 3
第8回（11月25日）	古林正和：青年期に健康を考える
第9回（12月2日）	夏田昌子：生活習慣病 1
第10回（12月9日）	古林正和：生活習慣病 2
第11回（12月16日）	木下裕久：心の健康 1
第12回（12月23日）	小川さやか：心の健康 2
第13回（1月6日）	尾崎幸生：歯と歯ぐきの健康
第14回（1月13日）	森藤香奈子：青年期の性
第15回（1月27日）	峰松和夫：まとめと総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011050	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 1 年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 17時 ~ 18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の存在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。なお、コロナ禍の影響により、対面ではなくリアルタイムオンラインまたはオンデマンドでの授業、あるいはそれらの混合型での授業となる可能性がある。		
授業到達目標/Course goals	受講生が、憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、自国の憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え考えるようになること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1 つ以上 3 つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート 4 0 点、定期試験 (憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語る事ができる能力等を観る) 6 0 点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前授業 : 配布したレジュメに書かれている内容を、特にキーワードを中心に調べること (2 h) 事後学習 : レジュメや教科書をもとに授業の内容の理解度を深めること (2 h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】伊藤真『伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業』KADOKAWA 毎回レジュメを配布する。また必要に応じて判例や参考文献の情報を発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照） または「アシスト広場」（障がい 学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> <p>担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室） にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考（URL）/Remarks（URL）</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>
<p>実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等</p>
<p>第2回</p>	<p>憲法制定過程と2つの天皇制</p>
<p>第3回</p>	<p>国民主権と選挙制度</p>
<p>第4回</p>	<p>法の下での平等</p>
<p>第5回</p>	<p>信教の自由と政教分離</p>
<p>第6回</p>	<p>表現の自由 1</p>
<p>第7回</p>	<p>表現の自由 2</p>
<p>第8回</p>	<p>人身の自由</p>
<p>第9回</p>	<p>社会権</p>
<p>第10回</p>	<p>外国人の人権</p>
<p>第11回</p>	<p>国家権力の構造—立法権と行政権の関係</p>
<p>第12回</p>	<p>司法権</p>
<p>第13回</p>	<p>憲法9条と戦争放棄 1</p>
<p>第14回</p>	<p>憲法9条と戦争放棄 2</p>
<p>第15回</p>	<p>憲法改正問題</p>
<p>第16回</p>	<p>試験</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581001050	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生(夜間主コース)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問やアポイントメントはメールにて受け付けます。 junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。 そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。 また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。 ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方やディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加,情報の収集状況・分析など),プレゼンテーション(わかりやすい資料,話の構成,説得力など),レポート(構成,文章表現など)により総合的に評価し,最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学修: 事前にアナウンスする文献や資料の内容を整理し,疑問等を明確にする。(2h) 事後学修: ディスカッションした内容等を自身で整理し,理解の程度を明確にする。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	講義開始時に指導教員より指示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	研究発表とディスカッション

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581001051	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済夜間主		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mshikimi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	本館612		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木12:00-12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り,大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため,知的活動への動機づけを高め,レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また,大学での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り,グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。</p> <p>他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。</p> <p>ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>主体的・積極的なゼミへの参加度 (25%)、課題への取り組み及び報告やプレゼンテーション (75%) で評価する。</p> <p>無断欠席は、認めない。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習：授業中及びLACS上で適宜指定する (2H)。</p> <p>事後学習：授業中に出された課題に取り組むこと (2H)。</p>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	講義は、進捗状況により変更することがある。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 初年次セミナーの概要 第2回以降の授業計画はクラスごとに異なります。
第2回	第2回 オンライン授業について
第3回	第3回 文章の読み方
第4回	第4回 図書館ガイダンス
第5回	第5回 レポートのまとめ方
第6回	第6回 引用、参考の方法
第7回	第7回 各自の研究の中間報告（1）
第8回	第8回 各自の研究の中間報告（2）
第9回	第9回 プレゼンテーションの仕方
第10回	第10回 ディスカッションの仕方
第11回	第11回 研究報告とディスカッション（1）
第12回	第12回 研究とディスカッション（2）
第13回	第13回 研究のまとめ（1）
第14回	第14回 研究のまとめ（2）
第15回	第15回 学修ポートフォリオについて

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581001052	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ymatsuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	東南アジア研究所207		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12:10 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため, 知的活動への動機づけを高め, レポートとプレゼンテーションとディスカッションなどを通じて効果的な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。</p> <p>他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。</p> <p>ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート (構成, 文章表現など) により評価し, 最終的な成績評価は「合」「否」の2段階とする。詳細はオリエンテーションにて指示する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>予習: プレゼンテーションにむけて調査を行い, 結果を資料にまとめること。(2h)</p> <p>復習: 議論を踏まえて必要な調査やレポートの執筆を進めること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	研究テーマに関する討議(1)
第3回	研究テーマに関する討議(2)
第4回	図書館ガイダンス
第5回	レポートのまとめ方について
第6回	研究テーマに関する討議(3)
第7回	研究テーマに関する討議(4)
第8回	研究テーマ決定
第9回	研究進捗のプレゼンテーション(1)
第10回	研究進捗のプレゼンテーション(2)
第11回	研究進捗のプレゼンテーション(3)
第12回	研究進捗のプレゼンテーション(4)
第13回	研究進捗のプレゼンテーション(5)
第14回	研究進捗のプレゼンテーション(6)
第15回	最終報告

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210581001053	科目番号 / Course code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Course title	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門), 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kamiz_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	個別対応. 各自メールにて日時予約のこと.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。</p> <p>そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。</p> <p>また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。</p> <p>他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。</p> <p>ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初年次セミナーに対する取り組み方・ディスカッション(初年次セミナーへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	各クラス担当教員の指示による。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	初回に通知する。
第2回	初回に通知する。
第3回	初回に通知する。
第4回	初回に通知する。
第5回	初回に通知する。
第6回	初回に通知する。
第7回	初回に通知する。
第8回	初回に通知する。
第9回	初回に通知する。
第10回	初回に通知する。
第11回	初回に通知する。
第12回	初回に通知する。
第13回	初回に通知する。
第14回	初回に通知する。
第15回	初回に通知する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210582001050	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎 / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh_nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。 (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>【授業の概要】 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活する上での「生きる力」の一つとなっています。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のための道具として不自由なく扱えるためのスキルと能力とが必要不可欠なものとなります。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得します。</p> <p>授業は、講義と演習を組み合わせを進めます。また、実施方法としては、以下の方法の組み合わせを予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) リアルタイムのオンライン授業 (Web会議システムを使用した遠隔での授業) (2) 対面授業 (教室で直接対面しての授業) (3) オンデマンド授業 (用意された動画や(1)(2)の記録を視聴する授業) <p>講義内容を確実に理解するために、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題が存在します。講義では、主体的学習促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱うための、基本的な情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる。 ・情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティについて基本的な考え方を理解し、ネットワークを適切に利用できるようになる。 ・インターネット (Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作や活用の方法を説明できるようになる。 ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集するとともに、それを分析、活用できるようになる。 ・自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や適切なネットワーク環境への接続ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>・定期試験30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 ・演習課題60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 ・授業への参加状況 10% 原則として全回出席が前提となります。正当な理由で欠席する際には欠席届を提出願います。なお、作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点として扱います。100点満点に換算し、60点以上を合格とします。</p>
<p>各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学習の内容/Preparation & Review</p>	<p>授業の事前、事後で以下に沿って学習を行うこと。 ・文書作成、表計算、プレゼンテーション （事前）事前に予習課題を提示します。指示された内容を教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出してください（2時間の学習）。 （事後）授業で配布された資料や講義内容を整理し、授業の内容について理解を深めて下さい。予習課題の内容に誤りがあったものは訂正し、LACS上で再提出してもらいます（2時間の学習）。 ・コンピュータとネットワークの基礎等 （事前）指示された教科書の内容について熟読してください（2時間の学習）。 （事後）授業で配布された資料や講義内容を整理し、授業の内容について理解を深めて下さい。授業中に別途指示された課題に取り組んでもらうものもあります（2時間の学習）。</p>
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会</p>
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>教科書： 「情報基礎」（生協のみで購入可能、一般の書店では入手できないので注意して下さい）。上繁義史，「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界 改訂版」，培風館，2021年，ISBN978-4-563-01608-1</p>
<p>受講要件（履修条件）/Prerequisites</p>	<p>Windows 10及び（在学期間中、本学が無償で提供する）Microsoft Office 365 ProPlusがインストールされたノートPC、及びACアダプタを毎回必ず使用してください。 再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講してください。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/R02/pc-hikkei2.pdf</p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考（URL）/Remarks（URL）</p>	<p>https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むようにしてください。 なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。 第1回から第3回までは自宅等でリアルタイム型授業を安定的に聴講できることを確認するための回です。各回で受講が不安定な際には、大学情報環境接続説明会の資料に従って相談や問題解決を図って下さい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参してください。コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>Y</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>鈴木 斉/ソフトウェア開発系企業での勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員がコンピュータに関する基本的な原理や情報に関する基礎理論について解説する。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>

第01回 4月14日	<p>【ガイダンス】</p> <p>授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及びMicrosoft Office365他アプリケーションウェアのセットアップ状況の確認、大学情報環境接続説明会での説明事項の確認、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習</p> <p>初回の授業ですが、ノートパソコンの操作が必要となることにご注意願います。</p>
第02回 4月21日	<p>【PCとLACSの活用】</p> <p>LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ</p> <p>Microsoft Wordの基礎、Microsoft Excelの基礎、Microsoft PowerPointの基礎</p> <p>【電子メールの利用】</p> <p>電子メールの利用上のマナー、電子メールの環境設定及び操作実習</p>
第03回 4月28日	<p>【電子メールの利用】</p> <p>電子メールの利用上のマナー、電子メールの環境設定及び操作実習</p> <p>【コンピュータとネットワークの基礎1】</p> <p>コンピュータの構成・動作原理の理解</p>
第04回 5月12日	<p>【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】</p> <p>(情報セキュリティ関連)</p> <p>情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策</p> <p>(情報倫理、法律関連)</p> <p>情報倫理、ネチケット、個人情報保護など</p> <p>オンデマンド形式での実施となります。</p>
第05回 5月19日	<p>【プレゼンテーション1/2】</p> <p>Microsoft PowerPointの基本操作、構成変更、動作設定、印刷</p>
第06回 5月26日	<p>【表計算1/4】</p> <p>Microsoft Excelの基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定、表の印刷レイアウトの設定・印刷方法、グラフの作成</p>
第07回 6月 2日	<p>【表計算2/4】</p> <p>データの検索、複数シートを使ったデータ処理、関数の応用</p>
第08回 6月 9日	<p>【表計算3/4】</p> <p>表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成</p>
第09回 6月16日	<p>【表計算4/4】</p> <p>ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用</p>
第10回 6月23日	<p>【情報のデジタル化】</p> <p>情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化</p>
第11回 6月30日	<p>【文書作成1/2】</p> <p>Microsoft Wordの基本操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、ページ設定、印刷</p>
第12回 7月 7日	<p>【文書作成2/2】</p> <p>ワードアート挿入、スタイルの設定、校閲機能</p>
第13回 7月14日	<p>【コンピュータとネットワークの基礎2】</p> <p>コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド</p>
第14回 7月21日	<p>【プレゼンテーション2/2】</p> <p>別アプリのデータ利用、共通デザインの設定</p>
第15回 7月28日	<p>【総合演習】授業の振り返り</p>
第16回	<p>【定期試験】まとめ、試験 8月4日を予定しています。</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210586014150	科目番号 / Course code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12121_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心な社会への取組 (リスク社会と社会科学) / Risk Society and Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 片淵キャンパス東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日18:00~19:30(研究室に来室の際は事前にメール等で連絡をください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会科学の側面から社会システムの機能や役割を把握することで、リスクに向き合うための課題や指針を理解する。		
授業到達目標/Course goals	需要、供給、市場といった経済学の基本的概念を理解するとともに、企業の様々な戦略や役割についてこれら経済学の概念を用いて理解できるようになる。また、政府による企業に対する規制や法の根拠や在り方について、自らの見識を持てるようになることを目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験60%、課題レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	提示した授業資料を事前・事後に一読すること。(各2h)		
キーワード / Keywords	産業組織論、企業戦略、企業組織		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業に必要な資料は別途配布する。なお特定の教科書は用いないが、必要に応じて下記の参考文献を適宜利用する。 1. 小田切宏之(2019)「産業組織論」有斐閣 2. デビット・ベサンコ、デビッド・ドラノブ、マーク・シャンリー(2002)「戦略の経済学」ダイヤモンド社 3. ポール・ミュルグロム、ジョン・ロバーツ(1992)「組織の経済学」NTT出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される企業に関する記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	当該授業では担当教員の実務経験をもとに、事業規制などの様々な政府政策についても解説を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	需要
第3回	供給
第4回	競争市場
第5回	独占市場
第6回	寡占市場
第7回	参入障壁とコンテストブルマーケット
第8回	価格戦略
第9回	差別化戦略
第10回	競争優位戦略、広告戦略
第11回	技術開発投資
第12回	カルテル
第13回	合併
第14回	垂直的取引
第15回	プラットフォーム
第16回	総括（定期試験を含む）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210586014550	科目番号 / Course code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心な社会への取組 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール , 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-toshi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部2号館4階412号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2563		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標/Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書/Materials	安全・安心工学入門(古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	n
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について
第2回	第2回 事故の事例と安全意識
第3回	第3回 事故原因の解析法の紹介
第4回	第4回 災害とリスクマネジメントについて
第5回	第5回 リスクマネジメントの事例紹介
第6回	第6回 安全文化について
第7回	第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け
第8回	第8回 安全・安心に関する法律1 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
第9回	第8回 安全・安心に関する法律1 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
第10回	電気に関する安全安心 1 安全安心に関する提案の打ち合わせ 3
第11回	電気に関する安全安心 2 安全安心に関する提案の打ち合わせ 2
第12回	電磁波に関する安全安心1 安全安心に関する提案の打ち合わせ 3
第13回	電磁波に関する安全安心2 安全安心に関する提案の打ち合わせ 3
第14回	安全安心に関する提案の発表会1
第15回	安全安心に関する提案の発表会2 安全安心に関する提案の総評
第16回	予備

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6, 火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2021/04/01 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587026950	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追及 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 修 / Kaneko Osamu, 児玉 年央 / kodama toshio, 水上 修作 / SHUSAKU MIZUKAMI, 見立 英史 / Mitate Eiji, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 川崎 浩二 / Kawasaki Kouji, 菊池 三穂 子 / Kikuti Mihoko, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro, 田浦 直太 / Taura Naota		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 修 / Kaneko Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 修 / Kaneko Osamu, 児玉 年央 / kodama toshio, 水上 修作 / SHUSAKU MIZUKAMI, 見立 英史 / Mitate Eiji, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 川崎 浩二 / Kawasaki Kouji, 菊池 三穂 子 / Kikuti Mihoko, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro, 田浦 直太 / Taura Naota		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okaneko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	熱帯医学研究所 原虫学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7838		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00 - 17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	概要: 医療現場での安全管理や国内外で発生する様々な感染症に関する講義を受講する。 位置づけ: 上記感染症についての正確な知識を身につけ、医療の安全と安心について自ら考えるこ とができる力の涵養を図る。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。(DP1,2,7,10) ・医療現場における安全と安心について理解する。(DP1,2,7,10) ・歯科医療における安全と安心について理解する(DP1,2,7,10) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テストもしくはレポート課題(50%)、授業参加度(50%)による評価で計100点満点中60点以上 の者を合格とする。各自の特性により成績評価に関する不安がある場合は、相談に応じるので担当 教員に連絡すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: シラバスを参考にして、講義内容に近い部分を、各種メディアや参考書などから各自が 予習すること(各回2 h) 事後学習: 毎回の講義で新たな用語や概念が登場するので、それらの意味を正確に理解するよう復 習すること(各回2 h)		
キーワード/Keywords	医療現場・感染症・国際伝播・情報共有		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/protozoology/
学生へのメッセージ/Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	見立英史 / 歯科医師としての実務経験 / 歯科における標準予防策、歯科治療における偶発症とその防止策 児玉年央 / 研究者として、病原性細菌に関するラボにおける基礎研究の実務経験 / 病原性細菌の病原因子、病原性発揮機構や症状など 濱野真二郎 / 研究者として、「顧みられない熱帯病」に関するフィールドとラボにおける基礎・開発研究の実務経験 / 感染症のインパクト、「顧みられない熱帯病」の特質と重要性、フィールドとラボ、双方向からのアプローチ、熱帯医学・グローバルヘルス領域の魅力 金子修 / 研究者として、マラリアに関するフィールドとラボにおける基礎・開発研究の実務経験 / マラリアの臨床症状や病原性、診断など 水上修作 / 研究者として、免疫学・寄生虫学の基礎・ワクチン開発研究の実務経験 / マラリアなどのワクチン開発研究 菊池三穂子 / 研究者として、免疫学・寄生虫学の基礎・開発研究の実務経験 / 水を介した感染症など 松本武浩 / 医師として、医療安全管理の実務経験 / 医療安全管理実務に関する考え方、内容など 川崎浩二 / 地域医療連携センター長として、地域連携業務の実務経験 / 地域医療連携と入退院支援による患者の安心・安全との関連 田浦直太 / 医師として、病院の診療情報管理の実務経験 / 臨床上診療情報の扱い方
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	歯科における標準予防策（見立英史）
第2回	歯科治療における偶発症とその防止策（見立英史）
第3回	病原細菌とは？（児玉年央）
第4回	病原細菌はどのようにヒトに病気を引き起こすのか？（児玉年央）
第5回	ネグレクテッド・トロピカル・ディーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」1（濱野真二郎）
第6回	ネグレクテッド・トロピカル・ディーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」2（濱野真二郎）
第7回	病気を起こす原虫とは（金子修）
第8回	世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識（金子修）
第9回	ヒトの免疫はどのように寄生虫やウイルスとたたかうのか？（水上修作）
第10回	マラリアワクチン開発（水上修作）
第11回	安全で安心な生活の為に必要な水とはどんなものなのか？（菊池三穂子）
第12回	安全で安心な水をどのように確保するのか？世界の水事情（菊池三穂子）
第13回	医療機関における安全管理（松本武浩）
第14回	医療連携における安全・安心（川崎浩二）
第15回	診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供（田浦直太）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6, 火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587027350	科目番号 / Course code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追及 (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimra nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	本館605号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6382		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで連絡ください。相談には応じます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義ではアカデミックディベートを行う。二つのチームで安全と安心にかかわる同じテーマについて是非に分かれて、それぞれが論理的に主張して、レフリーがどちらの主張が論理的であるかを判断することによって判断を行う。その過程で、社会科学から見た安全と安心についての各テーマについて深く自ら学ぶとともに、多面的に物事を考える力、論理的に主張する力を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。 1. 社会科学の安全と安心にかかわるテーマについて深く自ら学び取ることができる。 2. 自らの考えを論理的にまとめ、他者に対して自分の考えを論理的に説明できること 3. チーム内で協力して議論を深めるためのファシリテーションの技術が理解できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ 毎回の事前学習レポート : 50% ・ 授業への貢献度 : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ディベートの内容について事前調査し、その結果をMiroでマインドマップにまとめてくること。		
キーワード/Keywords	アカデミック・ディベート、ファシリテーション、ロジカルシンキング、システム思考		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション、チームビルディング、ファシリテーションとは何か？
2	アカデミックディベートとは何か、その実施方法について 最初のテーマ：大学はオンライン教育を推進すべきかどうか？
3	テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
4	第1回ディベート 第2回ディベートのテーマ発表：日本にIR施設は必要か？
5	第2回テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
6	第2回ディベート 第3回ディベートのテーマ発表：日本は安楽死を認めるべきか？
7	第3回テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
8	第3回ディベート 第4回ディベートのテーマ発表：日本は死刑制度を廃止すべきか？
9	第4回テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
10	第4回ディベート 第5回ディベートのテーマ発表：日本は原子力発電所を即時撤廃すべきか？
11	第5回テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
12	第5回ディベート 第6回ディベートのテーマ発表：日本は憲法9条を改正すべきか？
13	第6回テーマについての事前学習内容のチーム内での発表。チームとしてのディベートの戦略を練る
14	第6回ディベート
15	振り返り：まとめ。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587028150	科目番号 / Course code	05870281
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12181_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (公害環境問題と社会) / Environmental Issues and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4階 環404 戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Course goals	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験70%、毎回のミニレポート30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書を通読すること。LACSを毎日確認すること。		
キーワード/Keywords	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は、戸田清『核発電の便利神話』長崎文献社2017年、参考書は適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。環境科学部の環境社会学と一部重複するが、両方受講しても得るところは多い。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	下田 順子/小学校教諭 カネミ油症の語り部活動/油症患者の代表としての被害者救済活動に関する実務経験を活かし、被害多発県としての実情を当事者の肉声で聞くことで、学生に医療従事者等の観点を考える機会を与える。/ 下田 順子/小学校教諭 カネミ油症の語り部活動/油症患者の代表としての被害者救済活動に関する実務経験を活かし、被害多発県としての実情を当事者の肉声で聞くことで、学生に医療従事者等の観点を考える機会を与える。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 9月27日	イントロダクション 水俣病 なぜ解決が長引くのか
2 10月4日	水俣病その2
3 10月18日	じん肺・アスベスト 長崎で労災多発
4 10月25日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
5 11月1日	福島原発事故とトモダチ作戦被曝訴訟
6 11月8日	福島原発事故と甲状腺がん
7 11月15日	10万年の安全管理を要する高レベル放射性廃棄物
8 11月22日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
9 11月29日	カネミ油症 長引く解決 福岡・長崎で多発
10 12月6日	カネミ油症その2 下田順子さん講演 五島出身、諫早在住の認定患者です 日程は暫定
11 12月13日	遺伝子組み換え作物
12 12月20日	石木ダム計画をめぐる紛争 長崎県
13 1月17日	劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
14 1月24日	ベトナム枯葉作戦と沖縄の枯葉剤
15 1月31日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
16 2月7日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587029350	科目番号 / Course code	05870293
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12141_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (水環境の安全と安心) / Introduction to the Engineering for Safe Water Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Akihide Tada, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Akihide Tada, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-tanabe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) atada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) itayama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) tfujioka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学研究科 (総合教育研究棟 7 F 7 0 9)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2659 (田邊)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 18:00 ~ 19:00 (事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。		
授業到達目標/Course goals	水環境に関する問題について解説できるようになる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術についてその種類、原理、方法などを説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義毎にレポート課す。成績の評価は、講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は教員の配付する資料、あるいは指示する書物やサイトを事前に読むこと、事前学習は2時間以上の時間を必要とする。講義中に、次回講義までの宿題や調査を依頼する場合がある。事後学習は講義中に出された課題をレポートにまとめることで行う。レポート提出は次の講義の前日夕方までが基本である。事後学習は2時間以上を基本とする。		
キーワード/Keywords	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	水環境に関する技術的内容を含みますので、理数系の科目を受講している方が、理解が早いと思います。説明は、文系の方にもわかるように配慮します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	夢田 彰秀/西松建設(株)での勤務経験/水工学分野の実務研究経験を活かして、水工水理学分野の諸問題と特徴的な技術を紹介するとともに、課題解決に必要なとなる修学事項を説明する。/ 板山 朋聡/三菱重工業(株)および/国立研究開発法人国立環境研究所での研究開発業務経験/環境工学分野の研究開発業務経験を活かして、水処理・排水処理に関する工学的な現象および実問題を取り上げ、理解に必要な理論と手法を説明する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状
第2回	水環境モニタリング技術について
第3回	水道と水源池
第4回	水源を守る
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について
第9回	<水を造る>膜分離技術概論?現状と展望?
第10回	<水を再生する>膜分離技術概論?現状と展望?
第11回	水環境生態系の保全と修復
第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験
第16回	評価結果に対する指導

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210587054550	科目番号 / Course code	05870545
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16021_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会の追及 (リスクマネジメントと安全文化) / Crisis Management and Safety		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	工学部1号館3階流体エネルギー研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日1730-1800		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	安全、特に物を提供する立場からの考え方を理解する。		
授業到達目標 / Course goals	リスクマネジメントの基本となるリスクの列挙と分類の考え方が理解できる。 具体手になりリスク列挙ができる。 安全文化の考え方が理解できる。 安全文化について、人に説明ができる。 安全について実践を試みることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の演習50%、宿題50%にて評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各回に配布したプリントをつうじて、次回の内容との関連を深めるために、しっかりと必ず復習をすること(事前2h、事後2h)		
キーワード / Keywords	安全、安心、リスク、リスク列挙、リスクマネジメント、安全文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	資料をLACSにアップしますので、各自ダウンロードしてください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1/15	講義全体の概略説明
2/15	安全の基本的な考え方。安全のおモジュール1の復習。
3/15	具体的な事例をもとに、その分析を行う。
4/15	前回の内容をプレゼンテーションして、みんなで議論する。 事例の原因、関連項目の列挙。
5/15	前回の内容をプレゼンテーションして、みんなで議論する。 事例の原因、関連項目の列挙。その2
6/15	過去の事例からの、原因及び分類法についてまとめる。その1
7/15	過去の事例からの、原因及び分類法についてまとめる。その2
8/15	過去事例のリスクの系統図を作成する。
9/15	過去事例のリスクの系統図を作成する。その2
10/15	安全文化の概要
11/15	安全文化に関する事例の調査
12/15	安全文化に関する事例の調査。その2
13/15	安全文化に関する事例の調査。その3
14/15	安全を担保するためにすべきことのまとめ。
15/15	安全を担保するためにすべきことのまとめ。ディスカッション

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20210587510350	科目番号 / Course code	05875103
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16081_005		
授業科目名 / Course title	安全で安心できる社会 (インフラの観点からの安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Infrastructure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター 他		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>社会インフラの老朽化による危険性、災害による危険性など人々が安全に暮らしていくためには現在の状況</p> <p>および、インフラの維持管理への住民の参画の仕方、ICTの活用、今後の都市計画のあり方など考えていく必要があります。</p> <p>この授業では、日頃からインフラに関心をもつための基本的な知識を修得することとします。</p> <p>・社会インフラの老朽化や災害の観点から、安全・安心とは何か、日常から意識をもって行動することができる。</p> <p>(自ら学び、考え、行動することができる。)</p> <p>・安心・安全な街づくりのための提案ができるようになる。</p> <p>(自ら学び、考え、主張することができる。)</p> <p>・ICT・地理情報を活用した分析ができるようになる。</p> <p>(分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている)</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>・社会インフラの老朽化や災害の観点から、安全・安心とは何か、日常から意識をもって行動することができる。</p> <p>(自ら学び、考え、行動することができる。)</p> <p>・安心・安全な街づくりのための提案ができるようになる。</p> <p>(自ら学び、考え、主張することができる。)</p> <p>・ICT・地理情報を活用した分析ができるようになる。</p> <p>(分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各担当教員からの課題で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACS等に資料を掲載するため、予め読んでくること。(2h) 各時間に提示させられた課題をLACSへ提出すること。(2h)		
キーワード/Keywords	災害 維持管理 地理情報 I C T 都市計画		
教科書・教材・参考書/Materials	随時資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス（インフラと安全・安心）若菜
第2回	安全・安心のための地理情報について
第3回	地理情報とインフラ
第4回	自然災害と安全・安心 その1【特別講師：高橋和雄】
第5回	自然災害と安全・安心 その2【特別講師：高橋和雄】
第6回	自然災害と安全・安心 その3【特別講師：高橋和雄】
第7回	情報インフラの安全・安心(暗号系)
第8回	情報インフラの安全・安心(クラウド)
第9回	情報インフラの安全・安心(社会に影響する情報基盤)
第10回	情報インフラの安全・安心(社会に影響する情報基盤2)
第11回	地理空間情報と都市計画（1）GIS概要
第12回	地理空間情報と都市計画（2）JstatMAPIによる演習
第13回	地理空間情報と都市計画（3）REASUSを用いた地域分析
第14回	地理空間情報と都市計画（4）
第15回	総括（インフラと安全・安心）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2021/04/01 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588007050	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab i.softbank.jp		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(50%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各テーマ毎に配布する2種類のプリント（動物の行動分析総論、薬物乱用と薬物依存、学習・記憶試験、動物実験とデータ処理に分けて配布するものと、パワーポイントで提示する内容の印刷資料）を配布しますので、配布後は前以てプリントに目を通し、予習・復習を心掛けてください。また、毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした小テストを授業時間内に実施・回収し、その時に解答例を配布しますので、復習によって学習の完成度を高めます。この小テストの結果は、成績評価の一部に組み込みます（予習2h、復習2h）。
キーワード/Keywords	動物行動科学 動物モデル 強化スケジュール 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件としますが、考查受験資格に関わる授業出席時数については、長崎大学教養教育履修規程（第14条）に従います。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり、少し専門的と感じるかも知れませんが、教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えば難しいのではと考えますが、簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で、優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は、2020年度ではAA、A評価が36.4%(AA14.6%, A21.8%)、最低限の到達目標に届かなかった受講者は10.9%でした(失格、欠席を除く55名中)。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588007150	科目番号 / Course code	05880071
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16041_001		
授業科目名 / Course title	ASEANのいろいろ / All About ASEAN		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6300(代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時応談		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ASEANおよびわが国各官署がインターネット上に公開するASEANに関する資料を読み込むこと。 子細は第1回講義にて指示する。以下は一例である。 投資環境資料のご案内 (JBIC) https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment.html
キーワード/Keywords	1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料 (https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment) を挙げる。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション: 本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか(知らないか)に関する調査も実施する。
2	世界とわが国とASEAN その1: おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
3	世界とわが国とASEAN その2: 経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
4	タイ その1(歴史・地理・人口・経済)
5	タイ その2(企業と産業)
6	タイ その3(社会貢献と昨今の情勢)
7	マレーシア
8	Mid-term ASEAN Quiz
9	ベトナム その1(歴史・地理・人口・経済・企業)
10	ベトナム その2(食料生産と環境保護)
11	フィリピン
12	インドネシア
13	その他各国 その1(ラオス、カンボジア、ミャンマー)
14	その他各国 その2(ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール)
15	総括とASEAN Quiz その2
16	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590000150	科目番号 / Course code	05900001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	データサイエンス概論 / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藺田 光太郎 / Sonoda Kotaro		
科目分類 / Course Category	数理・データサイエンス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。		
授業到達目標/Course goals	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全小テストの合計 (100点満点) が60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	十分な復習を前提とします。(2h)		
キーワード/Keywords	データサイエンス		
教科書・教材・参考書/Materials	毎回教材を配布します。 教科書：「データサイエンス入門 (データサイエンス大系)」 竹村彰通, 姫野哲人, 高田聖治 (編)) 学術図書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データサイエンスの概要を紹介します。データサイエンスの役割、データサイエンスの応用と活用技術、社会におけるデータサイエンス
第2回	データ分析の基礎について学習します。データの取得方法と管理方法、ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散
第3回	データ分析の基礎について学習します。散布図、相関係数、回帰直線、データ分析での注意点
第4回	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析
第5回	データサイエンスの手法、コンピュータを用いた分析について学習します。クラスタリング、決定木、ニューラルネットワーク、機械学習と人工知能、Excel を使ったデータ分析
第6回	コンピュータを用いた分析について学習します。RやPython を使ったデータ分析
第7回	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、医学
第8回	総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590001050	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]本館21 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 18:00 - 19:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語コミュニケーションでよく使われる表現を通じて、リスニング、ディクテーション、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 英語音声の発音上の特徴を理解し、実際に聞く、書く、声にすることを通じて、それを会得する。		
授業到達目標/Course goals	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で25点に相当する。 また、毎回、前回のユニットの表現テストを行う。30点である。 音声の提出が35点。授業への参加、貢献度が10点である。 (オンライン授業の場合、授業ノート提出45点、音声提出35点、その他課題等20点) 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習： 毎回前回のUnitの表現テストがあるので準備してくること (2時間)。 事後学習： 授業での音声を何度も聞いて、音になれるとともに、複数回の音読練習をしてください。最後に音読を録音したものをLACSで提出してください (2時間)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材は配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。 スマホを授業目的以外で使用していた場合、減点となる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要説明
第2回	I hope... 英語の音声：概要
第3回	look like 変化する音
第4回	as ... as つながる音
第5回	kind of 消える音
第6回	How do you like ...?
第7回	never ... until- b, vの音
第8回	It takes ... to ~ s, shの音
第9回	Shouldn't have + 過去分詞 thの音
第10回	I wonder ... (I was wondering if...)
第11回	Why don't you...? (Why don't we...? Let's... Shall we...?)
第12回	as soon as ...
第13回	give a person a call (give a person a... の表現)
第14回	It said/says that ...
第15回	Catch-up & Review

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590001051	科目番号 / Course code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]CALL教室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了時、またはメール、Lacsのメッセージで対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC形式の問題を使って、英語によるコミュニケーションの基礎となる英単語や英文法の知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	文法事項の復習し、問題演習の中で使用されている表現を使うことができるようになる。音声による情報をより正確に把握できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験30%、中間テスト30% 授業への積極的な参加状況(小テスト、課題等を含む)40% 以上により、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[予習]授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h) [復習]授業内容を復習して理解を深め、課題に取り組む。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	植木美千子、他(著) Illuminating the path to the TOEIC L&R Test (金星堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	欠席がある一定の回数以上に達した場合、期末試験を受験する資格がなくなります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1 Traveling 自動詞と他動詞
第2回	Unit 2 Daily Life & Shopping 呼応
第3回	Unit 3 At Restaurants 比較級・最上級
第4回	Unit 4 Job Hunting 関係代名詞・分詞
第5回	Unit 5 At the Office 1 長文穴埋め問題
第6回	Unit 6 At the Office 2 可算名詞・不可算名詞 Unit 7 Review Test 1
第7回	第1回から第7回までの復習 中間テスト
第8回	Unit 8 Doing Business Online 仮定法
第9回	Unit 9 Housing 前置詞
第10回	Unit 10 Making Deals & Contracts 動名詞・to不定詞
第11回	Unit 11 Public Service 付加疑問、接続詞
第12回	Unit 12 Banking & Finance 副詞、形容詞
第13回	Unit 13 At Seminars & Workshops メールで使用される表現
第14回	Unit 14 News & Media 時制
第15回	Unit 15 Review Test 2
第16回	授業の総括(定期試験)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590003050	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	夜間主コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 21:10 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)、必要最低限の英語(及び米語)を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	接客英語、『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	接客英語、『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第11回	『同化』を聞き取るパターン(4)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	On an Airplane(3)、VTR
第14回	At an Airport(1)
第15回	At an Airport(2)、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590003051	科目番号 / Course code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	夜間主コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 19:40 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)、必要最低限の英語(及び米語)を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	接客英語、『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	接客英語、『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第11回	『同化』を聞き取るパターン(4)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	On an Airplane(3)、VTR
第14回	At an Airport(1)
第15回	At an Airport(2)、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進捗設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005050	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]本館11 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済学部: 夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kuwata nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業直後またはEメール、Lacsのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	動画を視聴し、4技能のレベルアップのための演習に取り組む。特に、リスニングとスピーキング能力の向上のためのタスクを行う。		
授業到達目標 / Course goals	日常生活で使用される語彙を多く身につけると共に基本的な英語の構造が理解できるようになる。視覚情報を助けにしながら会話の内容を把握し、そこで使用されている表現を応用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験 30% 中間試験30% 授業への積極的参加状況 (小テスト、課題なども含む) 40% 以上により60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	[予習] 授業予定内容の教科書の該当部分を予習する。(2h) [復習] 教科書と配布資料で授業内容を復習し、課題に取り組む。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Live Escalate Book 2: Trekking (成美堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 01 Occupations • Talking about different occupations
第2回	Unit 02 At the Dinner Table • Practicing menu-related vocabulary and how to order a meal in a restaurant • Introducing a restaurant review
第3回	Unit 03 Sports • Talking about sports • Introducing themed races
第4回	Unit 04 Health • Discussing symptoms of illnesses • Talking about health threats caused by electronic devices
第5回	Unit 05 What 's on Your Playlist? • Talking about types of music and musical performers • Talking about guitar
第6回	Unit 06 At the Movies • Discussing different kinds of movies • Talking about how horror movies attract and help us
第7回	Review 1
第8回	第1回～第6回までの復習 中間試験
第9回	Unit 07 Technology in Daily Life • Describing household appliances • Talking about yesterday 's technology
第10回	Unit 08 Social Network • Describing social network terms • Talking about app stickers
第11回	Unit 09 Looking on the Bright Side • Talking about the power of staying positive
第12回	Unit 10 Love Affairs • Talking about different kinds of relationships
第13回	Unit 11 Storytelling • Introducing the origin and purpose of fables • Looking at a popular fable and learning from it
第14回	Unit 12 The Power of Words • Talking about how to give compliments • Learning the wisdom of riddles
第15回	Review 2
第16回	授業全体のまとめ(試験を含む)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590005051	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	本館6階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木 17:00 - 18:00 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語科目の目標は、一般的な社会生活をおくる上で必要な英語コミュニケーション能力の基盤となるリスニング力とリーディング力を培うための学修を行う。そのために、英語力の4技能を総合的に向上させることを目指すが、特にディクテーションを通じた、リスニングと発音の練習を中心とし、基礎的な表現力を修得する。ディクテーションや発音練習の中でさまざまな表現も合わせて学び、表現力の向上を図る。		
授業到達目標 / Course goals	英語音声の基本的特徴を体系的に理解できるようになるとともに、それらを聞き取れ、発音できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で20点に相当する。 また、毎回、前回のUnitの表現テストを行う。40点である。 音読課題を毎回課す。30点 参加・貢献が10点 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 オンライン授業 (オンデマンド授業) とする場合、評価方法は異なる (初回に説明します)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、前回のunitの表現テストがあるので、その準備をしてくること (2時間)。 事後学習としては、学習したUnitの音声を繰り返し聞き、音になれるとともに複数回音読の練習をしてください。最後に、録音し、ファイルにてLACSから提出してください (2時間)。		
キーワード / Keywords	リスニング ディクテーション 音読 破裂音 摩擦音 連結 脱落 弱勢 機能語と内容語 基本英文法		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布します		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction 授業概要説明
第2回	連結1 母音 + 破裂音 (p, b t, d k, g)
第3回	連結2 -ing + 母音
第4回	連結3 母音 + 摩擦音
第5回	脱落1 破裂音 + 同じ / 類似破裂音
第6回	脱落2 破裂音 + 別の破裂音
第7回	脱落3 破裂音の脱落
第8回	弱勢1 h音の弱勢・脱落
第9回	弱勢2 助動詞 + have
第10回	脱落4 同じ子音の連続
第11回	連結4 an+母音
第12回	機能語と内容語
第13回	機能語 1
第14回	機能語 2
第15回	3語以上の連結

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590009050	科目番号 / Course code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1)映画を題材にした教材を用い、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)映画とその文化的、社会的背景を読み解く。		
授業到達目標/Course goals	映画と背景当時の社会との相互関係を知る。リスニングの練習により、映画の聞き取りができるようになる。作品に登場する英語表現を学んで国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 40%、小テスト、授業参加度、授業への取り組み 60% 計 100点のうち 60点以上が合格		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Keywords	映画と文化的背景		
教科書・教材・参考書/Materials	Learn English with TITANIC (SEIBIDO)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (自己紹介、授業の進め方、評価等の説明)
第2回	Unit 1 (The Woman in the Picture) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第3回	Unit 1 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第4回	Unit 2 (Back to Titanic) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第5回	Unit 2 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第6回	Unit 3 (Leaving Port) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第7回	Unit 3 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第8回	Unit 4 (Don't Do it) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第9回	Unit 4 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第10回	Unit 5 (Do You Love Him?) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第11回	Unit 5 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第12回	Unit 6 (I Can't See You) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第13回	Unit 6 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第14回	Unit 7 (I'm Flying!) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第15回	Unit 7 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590011050	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	経済 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	(1)映画を題材にした教材を用い、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)映画とその文化的、社会的背景を読み解く。		
授業到達目標 / Course goals	映画と背景当時の社会との相互関係を知る。リスニングの練習により、映画の聞き取りができるようになる。作品に登場する英語表現を学んで国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 40%、小テスト、授業参加度、授業への取り組み 60% 計 100点のうち 60点以上が合格。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード / Keywords	映画と文化的背景		
教科書・教材・参考書 / Materials	Learn English with TITANIC (SEIBIDO)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き、5回欠席 (2回遅刻で1回欠席とみなす) で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (自己紹介、授業の進め方、評価等の説明)
第2回	Unit 8 (Iceberg Right Ahead) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第3回	Unit 8 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第4回	Unit 9 (An Honest Thief) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第5回	Unit 9 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第6回	Unit 10 (Goodbye Mother) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第7回	Unit 10 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第8回	Unit 11 (Get in the Boat) sec1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第9回	Unit 11 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第10回	Unit 12 (Two Tragic Bullets) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第11回	Unit 12 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第12回	Unit 13 (Promise Me) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第13回	Unit 13 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第14回	Unit 14 (Rose's Secret) sec 1 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第15回	Unit 14 sec 2 語彙、リスニング、英文和訳、文法
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013050	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(21:10~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標/Course goals	<p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持って異文化圏の人々に接することができる。</p> <p>国際人に必要視される資質や“地球村”の一員であるという概念、及び共存・共生を目指して異文化に適応するための方法に加え、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを理解することができる。</p> <p>日本の伝統と文化を尊重する態度を堅持することができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習、及び異文化理解につとめる姿勢を持って、積極的に異文化に関する情報を収集しておくことを求めたい。(2時間/回)		
キーワード/Keywords	速読、直読直解、同時通訳方式、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Materials	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多岐にわたりますが、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われます。常に海外の事情に対しても注視する姿勢を保ち続けてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)
第2回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第3回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第4回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第5回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第6回	日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~
第7回	日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~
第8回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第9回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第10回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第11回	日米文化比較~Hamburger and Curry()~
第12回	日米文化比較~Hamburger and Curry()~
第13回	日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~
第14回	日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~ 日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~
第15回	日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/01 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20210591000150	科目番号 / Course code	05910001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	プラネタリーヘルス入門 / Introduction to Planetary Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河野 茂 / KOHNO Shigeru, 中谷 久之 / Nakatani Hisayuki, 門司 和彦 / Kazuhiko Moji, 深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 泉川 公 一 / Izumikawa Koichi, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 山本 郁夫 / Yamamoto Ikuo, 清田 雅史 / Kiyota Masashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	河野 茂 / KOHNO Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	河野 茂 / KOHNO Shigeru, 中谷 久之 / Nakatani Hisayuki, 門司 和彦 / Kazuhiko Moji, 深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura, 鳥羽 陽 / Toriba Akira, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 中山 智喜 / Tomoki Nakayama, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 泉川 公 一 / Izumikawa Koichi, 深見 聡 / Fukami Satoshi, 山本 郁夫 / Yamamoto Ikuo, 清田 雅史 / Kiyota Masashi		
科目分類 / Course Category	プラネタリーヘルス科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	planetary_health_ml.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員TEL/Tel	問い合わせ等がある場合は, 上記Eメールアドレスに連絡してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日 11時 ~ 12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本学は, 総合大学として各分野の高い専門性を生かし「プラネタリーヘルス」に貢献することをス ローガンに掲げている。異なる分野で活躍する複数の講師が, それぞれの視点で地球規模の課題へ の取り組み, その重要性について講義し, 環境変化と地球の健康との間にある重要なつながりを理 解させ, プラネタリーヘルスに向き合う姿勢「プラネタリーヘルスマインド」を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている ・専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている ・地球環境と社会の多様性を理解している ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の授業終了後に課題を課し, 総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】講義のキーワードを提示するので, キーワードに関する内容を各自, 文献, Web等で調べて おくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に, 講義時のレポート課題に関して, 講義資料で紹介されたHPや 文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) を参照すること。		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: Planetary Health: Protecting Nature to Protect Ourselves		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「プラネタリーヘルス」というキーワードをもとにみなさんが持つ知を集積、統合して、新しい世界を次々と生み出す契機となることを願っています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	泉川公一/長崎大学病院における診療業務 村田比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務 吉村篤利/歯科医師としての実務経験 山本郁夫/三菱重工技術本部、(独)海洋研究開発機構にて勤務経験 深見聡/NPO法人での実務経験 上記の経験を授業内容に反映している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	タイトル：プラネタリーヘルス（地球の健康）と長崎大学 講師：河野 茂 学長 講演のキーワード：長崎大学ホームページ http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/planetaryhealth/index.html , http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/message/assumption/index.html
第2回	(医学部) タイトル：人類は感染症を征圧できるのか？ 講師：泉川 公一 教授 講演のキーワード：微生物、診断・治療、新型コロナウイルス感染症、共存 (経済学部) タイトル：社会という観点からPlanetary Healthを考える-あなたと「格差」のかかわりは？- 講師：深浦 厚之 教授 講演のキーワード：豊かさや幸福、児童・低賃金労働、冷静な頭脳と暖かい心
第3回	(環境科学部) タイトル：プラネタリーヘルスと環境科学 講師：中山 智喜 准教授、深見 聡 准教授 講演のキーワード：気候変動、大気汚染、持続可能な開発、エコツーリズム
第4回	(歯学部) タイトル：プラネタリーヘルスと歯学 講師：村田 比呂司 教授、吉村 篤利 教授 講演のキーワード：歯学、QOL、健康寿命、う蝕（むし歯）、歯周病
第5回	(多文化社会学部) タイトル：多文化社会学・グローバルヘルスから考えるプラネタリーヘルス 講師：門司 和彦 教授 講演のキーワード：多文化共生社会、グローバルヘルス、プラネタリーバウンダリーズ (教育学部) タイトル：「気付き」からはじめるプラネタリーヘルス：教育と学習の関係性から考える Planetary Health, Starting from "Awareness": considering relationship between teaching and learning 講師：井手 弘人 准教授 講演のキーワード：場を基盤とした学習・教育(place-based learning and education)、統合的なカリキュラム(integrated curriculum)、経路依存性(path dependency)、アフォーダンス
第6回	(工学部) タイトル：環境観測ロボットとマイクロプラスチック 講師：山本 郁夫 教授、中谷 久之 教授 講演のキーワード：生物運動型ロボット、海洋エネルギー、構造物検査ロボット、海洋ごみ 海洋、陸域、マイクロプラスチック、生成機構

第7回	<p>(薬学部)</p> <p>タイトル：環境汚染物質から見たプラネタリーヘルス 講師：鳥羽 陽 教授 講演のキーワード：大気汚染，健康影響，化学物質曝露，世界の動向</p> <p>(情報データ科学部)</p> <p>タイトル：食糧とプラネタリーヘルス 講師：持田 恵一 教授 講演のキーワード：生物多様性，栄養，環境ストレス，フードテック，育種，バイオエコノミー，精密農業，食料安全保障</p>
第8回	<p>(水産学部)</p> <p>タイトル：海から見たプラネタリーヘルス：知の偏りを乗り越えよう！ 講師：清田 雅史 教授 講演のキーワード：海洋生態系，気候変動，海洋汚染，生物多様性，乱獲</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20210598000750	科目番号 / Course code	05980007
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール,電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>笈を負うて長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった,ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟,坂本龍馬,高杉晋作,福澤諭吉は長大OBと自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は?文化は?産業は?地域が誇るものは?原爆被災や復興は?...この講義では,そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と,そしてこの長崎大学を育み,かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって,長崎大学で学び,長崎の街で学生生活を送る諸君が,本学や長崎を誇りに思い(愛校精神),将来,地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また,多面的なものの見方,考え方がることを知り,長崎のより深い知識,理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎大学や長崎の歴史,文化,文学,産業の概要が説明できるようになる。 2. 多面的なものの見方,考え方がることを理解できる。 3. 歴史,文化,文学,産業の長崎独自性について意見を展開できるようになる。 4. 長崎のより深い知識,理解を発展させる学習意欲を身に付ける。 		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に,提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合,レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合,正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出日に遅れて提出したレポートは受理しないか,あるいは減点します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業の特性上,各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると考えられますので,通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし,各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。毎回,レポートの提出となりますので,与えられた課題に対する完成度の高いレポート作成のためには授業の復習のみならず関連資料の調査が必須となります(予習2h,復習2h)。		

キーワード/Keywords	長崎大学, 長崎, 長崎学, シーボルト, ポンペ, 長崎の歴史, 長崎の文化, 長崎の産業, 世界遺産, 長崎と原爆, 長崎検定,
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	毎回の積極的な授業への出席を前提に, 受講態度や提出するレポート内容で評価します (100%)。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史, 文化など多面的に知り, 長崎大学生であることを誇りに思い, 長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送る事です。本科目を履修し, 長崎学により深い興味を持ち, 長崎検定などに合格することも, 学習意欲を身に付けることにつながります。 授業は基本的に講義形式で行いますが, できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を深りながら進めます。必要に応じて, ハンドアウトを配布します。また, パワーポイントなども利用して理解を進めます。そのため到達目標達成度は, 2020年度ではAA, A評価が48.7%(AA17.9%, A30.8%), B評価以上は85.9%, 最低限の到達目標に届かなかった受講者は7.1%でした(失格, 欠席を除く78名中)。 2020年度は受講対象学部が異なっていますが, 参考にしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1) 科目の趣旨説明, 講義概要, 講義の進め方, 長崎大学の現況 (高橋)
第2回	1) 岬の教会とシーボルトの鳴滝塾 (相川・特別講師)
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化 (相川・特別講師)
第4回	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習 (相川・特別講師)
第5回	2) 長崎の歴史を築いた人々~長崎の三大女傑(1) (高橋)
第6回	3) 長崎の歴史を築いた人々~長崎の三大女傑(2) (高橋)
第7回	4) 長崎の歴史を築いた人々~長崎開港・大村純忠 (高橋)
第8回	1) シーボルトが使ったくすり~19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第9回	1) 長崎と原爆 1 (冨塚)
第10回	2) 長崎と原爆 2 (冨塚)
第11回	5) 長崎が誇る世界遺産1 (高橋)
第12回	6) 長崎が誇る世界遺産 2 (高橋)
第13回	7) 長崎事始め~長崎県の日本一・世界一 (高橋)
第14回	8) 長崎文学散歩, 長崎の歴史散策紹介 (高橋)
第15回	9) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回	予備日